

## 重点的に景観形成に取り組む地区の選定及び選定指標について

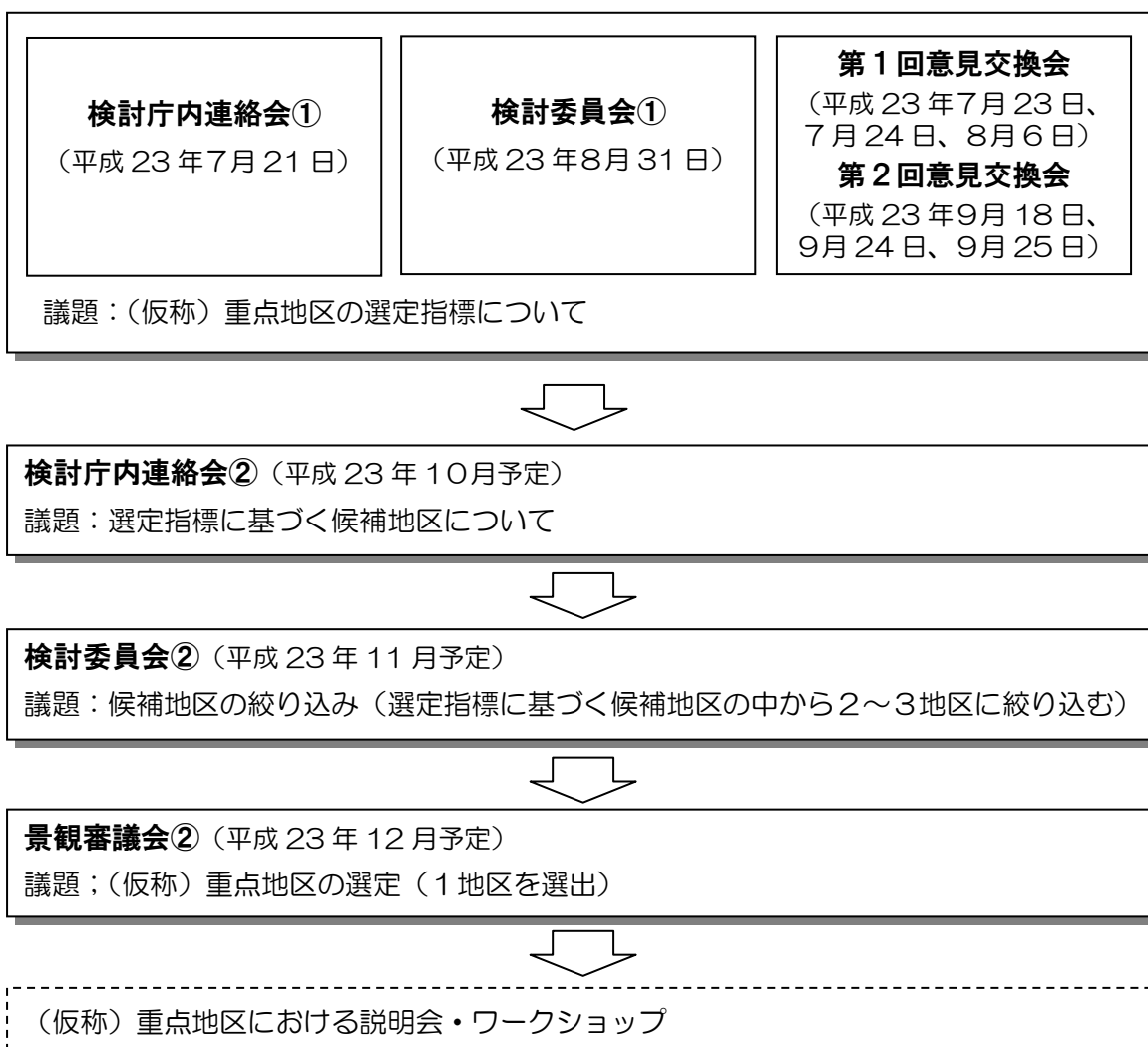
### (1) 重点的に景観形成に取り組む地区について

- 地区固有の資源や特性を生かし、特に良好な景観形成を重点的に推進する地区（以下「(仮称)重点地区」という。）を定め、地域住民との協働（ワークショップや説明会）により基準を検討します。選定については、客観的な選定指標に基づき、1地区を選定します。

### (2) 選定方法について

- (仮称)重点地区の選定に当たっては、客観的な検討が行えるように、幾つかの視点から選定指標を複数設定します。その指標に基づき、(仮称)重点地区の候補となる地区を複数抽出し、比較検討を行います。
- (仮称)重点地区の選定は、検討庁内連絡会や検討委員会における検討及び区民意見を踏まえた上で、景観審議会が行います。

### (3) 選定スケジュール



## (4) 選定指標案

### 選定指標の考え方

- 基礎調査の結果を基に設定します。
- 第1回景観審議会での意見を踏まえ、まちづくりや景観づくりに対する意識・関心が高い地区を選定するための指標を設定します。

選定指標	内容	指標に適合する要件	
計画的 位置付け	都市マスタープランにおいて、まちづくりや景観づくりの重要性が高く位置付けられている。	都市核や地域拠点、生活拠点に位置付けられている。	
景観 特性	坂	文京区の代表的な景観特性の一つである起伏に富んだ地形を有している。	「ぶんきょうの坂道」に掲載されている坂道がある。
	緑	まとまった緑があり、地区全体が緑によって一体的な景観を形づくっている。	公園、緑地、大学などのまとまりのある緑がある。
	史跡	地区を象徴する歴史的な建造物等が立地し、風情ある景観を形成している。	地区内に国・都・区の指定文化財、登録文化財がある。
	観光資源	区外からも多くの人々が訪れ、文京区の観光やイメージ形成の中心となっている。	文京区観光協会発行の観光ガイド「おさんぽくん」に観光スポットとして紹介されている。
	特徴のある 景観	景観特性が一定の広がりを持って存在している。	下町、寺町、門前町、低層住宅地、商店街など。
意識 ・ 関心	これまでの 取組	地区住民との協働で、まちづくりの取組が行われている。	地区計画やまちづくり基本計画・ガイドラインなどが策定されている。
	まちづくり の活動	住民によるまちづくりや景観づくりに関する活動が行われている。	地域住民が主体となった清掃活動、まちづくり活動などが行われている。

・  
・  
・